

世界展開力 ブラジル長期派遣 第一回 中間報告書

武田 翔吾

2018年8月7日から、僕は世界展開力ブラジル長期派遣で、ブラジルのサンパウロ大学ピラシカバ校に留学にきており、現在1ヶ月が過ぎようとしている。今回の中間報告で記述する内容は、はじめに自分のたてた目標に対してのこの1ヶ月間の取り組みの評価、次にブラジルという国に関して感じたこと、最後にこれからの計画についてである。

まず、この留学をする前に僕は大きく3つの目標を立てた。1つ目は、自分が最も精力的に学んできた分野である、土壌と作物の関係についての知見を深めること。2つ目は、第二外国語であるポルトガル語を習得すること。そして3つ目は、熱帯における農業技術を身につけること。これらの目標は全て、自分が将来貢献したいと考える国際協力の分野で働く人材となるため立てたものであるが、それらに対する行動は評価出来る部分とできない部分があった。まず前半の2つに関してだが、目標を叶えるために行動を起こした積極性という観点からは、ある程度評価できると思う。自分が関わられるだけ多くのブラジル人と話したり、授業のポルトガル語の説明を補うため英語で授業の参考文献を読んで理解に務めたり、研究室に所属して可能な限り多くの関連する実験のプロジェクトに関わったりした。しかし、それらは目の前の機会に対して衝動的に行動を起こしたものが多く、自分の時間をどのように配分して目標のために時間を使うかといった計画性の元に行動したわけではなかった。少なくとも2週間が経過した時点で1週間、1ヶ月単位の行動計画を作るべきであった。そうしなければ目標に近い行動を無計画に起こし続け、全体的な積み重ねや収穫のない留學生活となってしまいうだろう。この計画の作成は急務である。3つ目の農業技術の習得に関しては、現段階でこの目標に対しての直接的な行動は起こせていない。しかし作物の栽培をテーマとして活動している学生団体の紹介を得られたので、1週間以内に連絡を取り加入する予定である。

次にブラジルという国に関して感じたことであるが、1ヶ月間ブラジル人達と直に触れ合って現地の生活に身を置く中で、色々なことがわかってきた。まず最も強く感じたことは、ブラジル人達は外国人を受け入れることにとっても積極的だということだ。同じ寮のメンバーは僕の未熟なポルトガル語でも英語を含めた様々な語彙を用いて懸命に理解しようとしてくれ、それをむしろ楽しんでいる。またある友達は到着してわずか3日目の僕を父の日に行われる親戚中が集まる家族パーティーに招待してくれ、実の家族のように接してくれた。植民地時代から続くラテン民族の気質と、立国以来多くの民族を受け入れてきた経験がそうさせるのかもしれないが、とても日本人には真似のできない外国人への姿勢だと感じた。この国は民族だけでなく GMO や Uber など、新しい概念やテクノロジーもすぐに受け入れてその内側に収めてしまう。そういった許容性は、是非とも学びたいものだと思う。元々、伝統的にこの国は奴隷や移民などを次々と受け入れてきた。それは主にサンパウロやパラナ州のプランテーション、ミナスジェライス州のゴールドラッシュ、中部セラード開発など、大きなフロンティアを開拓するためにその力を自分の中に同化してき

たのであろう。またそれらの文化や習慣をまとめ上げるために、街の機能は非常に簡潔に合理的にできている。道路標識は日本よりも単純だし、住所も地名ではなく通りの名前とその始点からの距離で表される。日本とは異なり、どんな文化圏の人でも参画しやすいように設計された都市システムである。そういった発展のモデルや都市設計はアメリカ合衆国と非常に似ていると思うのだが、どうして経済的、政治的に大きな違いが生まれたのかについて非常に興味がある。初期に植民地を作ったヨーロッパ人達の違いかとも思えるのだが、このテーマはこれからも考え続けたいと思う。

最後に、これからの目標について書く。次の1週間で学生団体と研究室、そして実習に、それぞれどの程度自分の時間を配分するかを決め、今まで以上に強くブラジルでの目標を意識して生活を送ることである。まず、今まで以上に自宅での学習の時間を増やしたい。今までは、授業のない午前中や就寝前などの学習の時間があまり取れていなかった。しかし授業や研究室での活動を続けていく中で、また友人との会話が複雑になっていく中で、専門知識の学習や語学力の向上の必要性を痛感している。この1ヶ月は積極的に行動し続けた期間であったが、これからは行動するだけでなくしっかりと書物や資料と向き合って自分の知識を充実させていかなければ効果は薄くなってしまおうと感じている。また、日本語や英語を話す時間を減らし、ポルトガル語を話す時間を増やしたい。この1ヶ月、同じく長期留学できたメンバーや日系人などと話す時間が多すぎたと思う。楽で居心地のいいコミュニティに居続けるのではなく、この1ヶ月を境に新しいコミュニティを開拓していきたい。